

朝倉駅周辺のまちづくりについて

平成 29 年 10 月 10 号



朝倉駅周辺を、にぎわいの交流拠点とするための取り組みをお伝えします。

朝倉駅周辺整備計画 第3回市民ワークショップを開催しました。

平成 29 年 10 月 14 日(土)、知多市民体育館大会議室にて、朝倉駅周辺整備基本構想の策定に向けて、市民・利用者等の意見やアイデアを取り入れるための市民ワークショップ、『朝倉駅周辺整備計画 第3回 未来を語るワークショップ』を開催しました。(参加者：38 名)

第3回では、第1回、第2回の意見交換を踏まえ、参加者が考える理想の空間やそこで楽しい時間を過ごしている人たちを表す写真やイラストの切り抜きを使って、自分や身近な人たちが楽しく過ごしている様子を思い浮かべながら、朝倉駅周辺の未来予想図を表現しました。

第2回までの振り返りと第3回のねらいを説明

冒頭、事務局からは第2回ワークショップの振り返りに合わせて、この計画が朝倉駅周辺で実施されること、自分たちが利用者になることを改めて参加者に意識してもらうため、次の2点をお願いをしました。

- 自分の生活を改めて見つめ直し、いつ、誰と、どうやって朝倉に来るかを想像してほしい
- 「今、知多市にあるもの」を使ってできることはないか、それを踏まえて朝倉に何があったら自分はそこを使うかを改めて考えてみてほしい

そして第3回では、意見やアイデアを『物語』として語ってほしいことをお伝えし、グループワークへ移りました。

【第3回テーマ】

『みんなで創る 朝倉駅前の理想の“未来予想図”を描こう！』

- ・あなた自身や家族、友人、知人が『朝倉で過ごす一日』を想像
- ・第1回で話し合った「こんなことやりたい」、それを実現するために第2回で話合った「こんな空間がほしい・必要」を活かし、写真やイラスト、図などを使って理想の未来予想図を描こう！



朝倉駅前で過ごす理想の「未来予想図」を描こう



知多市 朝倉駅周辺整備計画
未来を語るワークショップ
～知多市の駅である朝倉駅周辺に、みんなが集まってもらえるような
朝倉市らしいにぎやかな空間を創造しよう～

配布された「場面カード」を使って、朝倉を訪れるのは平日か休日か、またどんな時間帯なのかを参加者一人ひとりが考え、思いつく「場面」とそこで行われる活動やその場の雰囲気などをグループで話し合いました。そして、共通するイメージや関連するアイデアなどを確認しながら、写真やイラストの切り抜きを模造紙に貼り付け、キーワードや絵を加えて、ワークショップのまとめとなる朝倉駅周辺の「未来予想図」を創り上げました。

次のページには、全3回のワークショップを通じて参加者から提案された意見に共通するまちづくりの考え方を掲載しています。



私のこれからの朝倉駅周辺整備計画との関わり方

3回のワークショップの結びにあたり、自分がこれからの朝倉駅周辺整備計画とどのように関わっていくのかを「ふりかえりシート」に記入し、全体で共有しました。

引き続き知多市の魅力作りに参加、協力していきたい。(50代、男性)

色々な友達に宣伝しまくりたい。(10代、女性)

朝倉のまちが自分たちが考えたようになるなら、またこのような企画に参加してお話したい。(10代、女性)

自分ができることを“誰か”と一緒にやりたい。(30代、女性)

こういう風に知らない人と知り合えるって素敵。楽しかったので、またこのような企画があるといいな。(40代、女性)

ワークショップがあれば参加したいし、朝倉を楽しく、行ってみたくなる場所にしたいな。(30代、女性)

地元にある企業として、便利な駅前となるよう提案、提言していきたい。(50代、男性)

自分の育った知多をもっと多くの人に知ってもらって、好きになってほしい。(30代、女性)

是非この3回で終わらずに定期的にワークショップを開催してください。参加します。(60代、男性)

楽しみながら、生活の中に朝倉の新しいまちを取り入れたい。(30代、女性)

ワークショップで提案されたまちづくりの考え方

3回のワークショップでは、各回のテーマに沿って、幅広いご意見をいただきました。その中で、全体を通じて共通している意見やアイデアを今回提案されたまちづくりの考え方として整理しました。

(朝倉駅周辺まちづくり全体の考え方)

市民が誇りに思える 人にやさしいにぎわいのまち

- 知多市民が市外の人に自慢したくなるような、訪れた人が家族や友人に紹介したくなるようなまち
- 緑に囲まれ、訪れた人がのんびり過ごせるまち
- いつでも、誰でも使いやすい多機能で自由度の高いまち
- バリアフリーに配慮され、ベビーカーや車いすの人も安心なまち
- 公共交通を利用しやすいアクセス性の高いまち



(中街区整備の考え方)

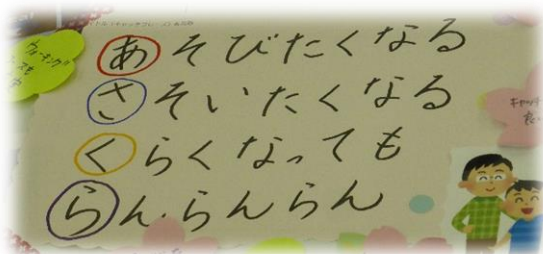
便利な駅前のにぎわい空間

- 市役所などの行政機能に加え、市民の生活利便性を高め、余暇を充実させる商業、業務機能が集積された街区
- 『知多市といえば朝倉』といわれるようなシンボリックな街区
- 人が集まることのできる開放的な広場空間が確保された街区
- 交通機能が充実し、利用しやすい街区



(目指すべき空間のイメージ)

- 駅舎を出ると、知多市のシンボルと開放感のある広場空間が広がる。
- 周りにある飲食店や公共スペースでたくさんの人が思い思いの時間を過ごしている。
- 駅や電車からは駅前のにぎわいを見渡すことができる。
- 公共交通の乗降場や一般車の送迎場からは雨に濡れずに駅舎まで行ける動線が確保されている。
- 十分な照明があり、夜間でも安心して歩くことができる。



(北街区整備の考え方)

緑あふれるくつろぎとにぎわいの空間

- ショッピングモールを中心に、家族で買い物や飲食を楽しめる街区
- 樹木、季節の花などが配置され、ゆったりとした交流空間のある街区
- 多様な交流イベントや商業目的の利用ができる芝生広場がある街区



(目指すべき空間のイメージ)

- 中街区と北街区はデッキでつながっており、歩行者が安全に移動できる。
- ショッピングモールには開放的な緑の空間や子どもが遊べる空間が整備されている。
- 花や木に囲まれた芝生広場では、四季を楽しむことができる。
- 週末にはマルシェ、音楽祭などのイベントが開催され多くの人が集まっている。

(南街区整備の考え方)

歩いて暮らすゆとりのまち

- 駅へのアクセス性の高さに加え、中街区・北街区の生活利便施設を歩いて利用できる好立地を活かした居住空間が整備された街区



(目指すべき空間のイメージ)

- 駅前とのまちの一体性を保ちつつ、多様な世代が暮らすマンションなどが整備されている。
- 居住者が集い、子どもが遊べる空間が併設されている。
- 雨に濡れず駅にアクセスでき、夜でも暗くない十分な照明が設置された安全な動線がある。

朝倉駅周辺整備計画 今後の展望

最後に長谷川参与から、参加者のみなさん、池田さん、吉村教授への感謝の言葉が述べられました。

今回のワークショップで参加者のみなさんからいただいた意見やアイデアは、これから市が策定する「朝倉駅周辺整備基本構想」に反映していくことが説明され、参加者には今後も「朝倉サポーター」としてこの計画を見守り、朝倉のまちづくりに関するアイデアがあれば引き続き事務局へ届けてほしいことをお願いし、結びとしました。



ご意見・問合せ 参与室(都市計画課)
電 話 0562-33-3151
E-MAIL : sanyo@city.chita.lg.jp